

市民対話集会のまとめ

H24. 7. 31現在

日程	会場	一般参加者			意見・提言カード提出数				発言件数		
		男性	女性	小計	男性	女性	不明	小計	男性	女性	小計
6月23日 (土)	牛島公民館	15	19	34	0	0	0	0	4	1	5
6月25日 (月)	東荷公民館	55	10	65	0	0	0	0	10	2	12
6月26日 (火)	浅江公民館	87	8	95	6	0	0	6	10	1	11
6月28日 (木)	大和公民館	64	12	76	2	0	1	3	7	1	8
6月29日 (金)	塩田公民館	50	17	67	1	0	0	1	3	1	4
6月30日 (土)	中島田公民館	32	24	56	3	2	1	6	8	5	13
	光井公民館	63	8	71	2	0	0	2	7	0	7
7月2日 (月)	三島公民館	51	11	62	2	0	0	2	7	0	7
7月3日 (火)	島田公民館	40	16	56	0	1	0	1	8	1	9
7月10日 (火)	伊保木公民館	28	7	35	3	0	1	4	10	1	11
7月11日 (水)	周防公民館	72	16	88	6	0	0	6	13	1	14
7月13日 (金)	室積公民館	79	10	89	1	0	0	1	11	0	11
合 計		636	158	794	26	3	3	32	98	14	112

1 ふれあいで絆を紡ぐコミュニティ創造プロジェクト

	地区	意見・提言等要旨		担当部
1	浅江	公民館の自主運営について	公民館活動の自主運営に移行して5年経つが、予算、人事、利便性について、どのように評価・検証を行うのか。	市民部
2	伊保木	コミュニティ交通事業について	コミュニティ交通を着実に残していくためには、市の車を当てにしているはいけなから考える。もう少しコンパクトな試みとして、実費程度の助成を出して自家用車によるコミュニティ交通の運用などは考えられないか。	経済部
3	三島	伝統行事などの情報発信方法について	柱松やどんど焼きなどの行事を毎年行っている。しかし地域の住民は高齢化し、人手が足りなくなっている。例えば地元出身の子どもや孫が帰省した時にまつりなどの行事があれば、帰省が楽しい思い出として残り、結果的に行事もにぎわいが続くのではないかと思う。	政策企画部
4	島田	まちづくり全般について	防災だけでなく福祉などほかの分野においても、行政の提案する、自助・共助・互助・公助に加えて、近助(向こう三軒両隣)の五つの助けの調和が必要ではないか。	総務部・市民部・福祉保健部
5	島田	コミュニティ創造プロジェクトについて	各地域にコミュニティ評議会が設置されたが、行政主導で作られたため、うまく運用されていない。これは、何かを行う時に重要な、「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」のうち、「ヒト」以外の条件が満たされていないからである。株式会社光市として、無駄なくスピーディに、そして地域の状況を加味して、コミュニティ組織の育成に取り組んでいただきたい。	市民部

2 健やかで確かな安心地域包括ケア創造プロジェクト

	地区	意見・提言等要旨		担当部
1	中島田	福祉のまちづくりについて	地域福祉計画、行動計画に、「ともに支えあうやさしさあふれる福祉のまちづくり 無縁社会から有縁社会へ」と素晴らしい言葉が載っているが、地域福祉向上のため、総合計画の中にもこの文言を取り入れてたらどうか。	政策企画部
2	光井	病院間を往復するバスの利用拡大について	通院のため、大和総合病院と光総合病院を往復するバスを利用させてほしい。	経済部
3	牛島	牛島診療所の運営について	島の人口が減少する中、牛島診療所の運営状態が厳しく困難になっている。18年度以降、指定管理者制度になってから、補助金も一切なくなった。市のほうで診療所の運営すべてを引き受けてもらえないか。	福祉保健部
4	周防	高齢者の安心安全ネットワークづくりについて	高齢者の安心安全ネットワークづくりについて、早急に実りのあるものにしてほしい。	福祉保健部

3 家庭と地域で包み込む温もり子育て創造プロジェクト

	地区	意見・提言等要旨		担当部
1	浅江	通学路の安全確保について	浅江小中学校児童・生徒の登下校時の安全確保について、新日鉄浅江寮跡に団地ができると聞くと、付近の道が狭く危ないので対策が必要である。また、浅江小の通学路のうち、光丘高校前の通学路、高速道路へ抜ける道は歩道が狭く、危険である。	教育委員会
2	塩田	児童生徒の交通事故防止について	柳井市へ通じている県道の交通量が増え、車の流れが速くなってきている。特に朝晩の通学時間帯は危険である。他県では通学児童の列に車が突っ込む事故も発生しており、対策を検討してほしい。	教育委員会
3	周防	さつき幼稚園の拡充について	周防地区住民にアンケートを行ったところ、「時間を延長して欲しい」「年長、年中に加えて、年少のクラスも作ってほしい」といった意見があり、これらの条件さえ揃えばさつき幼稚園に通わせたいという家庭が50世帯あった。幼稚園の時間延長や年少児童の受け入れの検討をお願いしたい。	福祉保健部

4 人と自然が共生するエコロジー生活創造プロジェクト

	地区	意見・提言等要旨		担当部
1	中島田	自然エネルギーの普及について	各公民館に太陽光発電を設置する計画はないか。また、風力発電という方向性はあるか。	環境部・建設部

5 地域力で災害を防ぐ安全なまち創造プロジェクト

	地区	意見・提言等要旨		担当部
1	束荷	防災無線の整備について	旧大和地区の設置数は適正か。防災無線が聞こえない地区が多くあるようである。(旧大和地区は人口は少ないが、面積は広い。設置に向けてより詳細な調査を行ってほしい。)	総務部
2	束荷	携帯電話の電波状況改善について	黒杭地区では防災無線から距離があり、音声聞こえにくい。近所の家も離れている。自分たちの地区にはどの携帯電話も通じない。外に出ればなんとか通じる場合もあるが、家の中では全く入らない。自分の土地にアンテナを設置してもらおうと、携帯電話業者に依頼したが、一部が市道の内側数メートルの市有地になり、アンテナを設置することができなかった。アンテナ設置について、検討してもらいたい。	政策企画部・建設部
3	浅江	防災全般について	①自主防災組織は浅江地区60加入自治会中、組織化は6自治会であり、できるだけ多くの組織化を目指したい。市にも手助けをお願いしたい。 ②避難場所が明確でないので、災害に応じた避難場所をもっと提示してほしい。 ③他地域との合同の訓練等が必要である ④指定された避難場所まで遠く、要介護者を連れて行くのは困難である。避難場所について民間と契約する方法も検討してほしい。	総務部
4	塩田	津波被害を想定した海拔表示について	津波被害を想定した海拔表示を行ってほしい。	建設部・総務部
5	島田	島田川の浚渫について	島田川(木下橋～鉄橋)の環境美化のため、自治会で年に5回川沿いの草刈りを実施しているが、河川敷に生える柳の木や葦が水の流れを阻害して洪水の危険性がある。災害が起こる前に対策してほしい	建設部
6	牛島	ヘリポート場の移設について	ヘリポートの場所が遠い。島の中心部などに移せないか。	総務部
7	光井	光井川の浚渫について	光井川の上流に川が直角に曲がっているところがあり、土砂がたまっている。大雨の時に危険である。	建設部
8	伊保木	防災無線の設置について	防災無線を26年度までに設置するということが、伊保木地区の設置はいつ頃になるのか。この地域全体が崩落危険区域に指定されており、早急な設置が必要である。	総務部
9	周防	的確な避難情報の提供について	ハザードマップによると、島田川の川西地域の避難場所が「土砂災害時」と「土砂災害時以外」で異なっているが、実際に避難する場合は、「豪雨による水害と土砂災害」の両方を一緒に考えなければならないのではないかと。避難情報が発令されるときに「土砂災害時」と「土砂災害時以外」に区分けして発令できるものなのか。的確な避難情報の提供をお願いしたい。	総務部
10	周防	避難所について	植松地区の避難所(多目的集会所)へ通じる道が災害時には島田川の水が逆流して使用できない恐れがある。避難所としては不適切ではないか。	総務部
11	周防	土砂災害防止設備の整備について	土砂災害多発危険地域である新宮地区において、事前対策として砂防ダム・砂防堤など土砂災害防止施設の整備をお願いしたい。	総務部・建設部
12	室積	防災行政無線について	防災行政無線について、室積地区での設置予定と設置場所は。過去に小中学校に設置してほしいと要望したがどうか。	総務部
13	周防	防災行政無線について	防災行政無線の設置場所について、地区単位で考えるのではなく、地形なども踏まえて周防地域全体で考え、機能的な配備を進めてほしい。	総務部

6 里の厨と光の海から始まる活力ある第六次産業創造プロジェクト

	地区	意見・提言等要旨		担当部
1	東荷	東荷地区の過疎化対策について	東荷地区は市内で2番目に高齢化率が高い。里の厨はにぎわっているが人口は増えていない。若者の流出も歯止めがかからない。そこで、農家専用住宅をつくってはどうか。それらを被災者にも提供してもよいのでは。これからの大きな課題は農業後継者の育成、定住策である。このままでは限界集落になってしまう。	政策企画部
2	伊保木	地域の活性化について	伊保木地区は小さな畑でもきちんと作物が作られている。都市部の人との交流を図る手段として、休耕となっている農地を市が買い上げるなどして活用ができないか。	経済部
3	浅江	未来創造プロジェクトについて	未来創造プロジェクトの6番目、第6次産業への付加価値に注目している。一次産業を育てて付加価値のあるものにするためには、出荷先の確保が大切である。	政策企画部・経済部
4	塩田	鳥獣被害対策について	近年、イノシシによる農作物被害に加えて、サルによる被害が増えてきている。自主的な対策を行っているが、なかなか減らない。市で効果的な対策をお願いしたい。	経済部
5	周防	農村の過疎化対策について	千田郷地域は、農村の過疎化、農家の高齢化等により、農地・農業用水(ポンプ施設)・排水路・農道等の保安全管理が困難な状況にある。今後ますます過疎化と高齢化が進み遊休農地が増えると思われるが、市としてどのような対策をしていくのか。	経済部
6	浅江	7つの創造プロジェクトについて	水産業には、森と水と川が必要である。プロジェクトに森の視点も加えて検討を進めてほしい。	経済部
7	島田	農業振興拠点施設「里の厨」について	東荷地区に「里の厨」ができたが、人や雇用が増えたわけではないという意見がある。農業生産者のためだけでなく、雇用を増やして若者が定住できる活発な地域になってほしい。そのためには「ブランド化」が重要である。	経済部
8	周防	林業の活性化について	プロジェクトに農漁業のことは記載されているが、林業の活性化についても取り組んでもらいたい。	経済部

7 コンパクトシティによる快適空間創造プロジェクト

	地区	意見・提言等要旨		担当部
1	東荷	岩田駅周辺の活性化について	岩田駅や総合病院周辺を、東京の巣鴨のような高齢者が集える場所にしてほしい。高齢者が買い物をしやすく、気軽に集える場所を作ってもらいたい。	政策企画部・建設部
2	大和	岩田駅周辺の整備について	新しい大和支所をつくるのであれば、支所から直接大和総合病院に渡れるような渡り廊下を設置し、高齢者にも安全で、支所や図書館と行き来しやすい総合病院にしていただけたらうれしい。	政策企画部・建設部

1 ふれあいで絆を紡ぐコミュニティ創造プロジェクト

番号	地区	意見・提言等要旨	担当部
1	浅江	枝虫川、鶯の子川樋門電気室の周辺につつじが植えられているが、約170本のうち40本近くが枯れており、管理がされていないようである。近隣住民にある程度の管理を依頼するなどの方策を取るべきだと思う。	建設部
2	三島	現在、やよい幼稚園、三井小学校、三島公民館で「子ども囲碁教室」を細々で行い、5年目となった。囲碁を通じて子どもたちが立派な大人に成長することを目的に、今後も市内の幼稚園、小、中、高校で普及活動をしていきたいと考えている。こうした住民主体の取り組みに対する市の支援をお願いしたい。	市民部

3 家庭と地域で包み込む温もり子育て創造プロジェクト

番号	地区	意見・提言等要旨	担当部
1	塩田	あいぱーく、教育委員会、地域づくり支援センターの調整機能を本庁に置くなどして、子育てに関する相談などを総合的に扱う部署が必要ではないか。	総務部・福祉保健部
2	中島田	児童通学路の危険箇所について、市、地元自治会、学校で協議し、早急な対策をお願いしたい。	教育委員会

5 地域力で災害を防ぐ安全なまち創造プロジェクト

番号	地区	意見・提言等要旨	担当部
1	浅江	浅江地区の自主避難場所は浅江公民館となっているが、何人の収容が可能か。5千人を超える虹ヶ丘住民はどこに避難するのか。	総務部
2	中島田	島田5丁目と中島田1丁目の境の小川のたい積土砂の除去について、市と住民が協働でお金をかけずにアイデアと人力を出し合っ川の流れを取り戻す努力をしたらよいのでは。災害が起こってからでは遅いと考えます。	建設部
3	室積	室積海水浴場(後松原海岸)の砂流出防止について。戸仲に防波堤を新設されて、付近の砂が今までのように流出がなくなったと聞いている。今後もこのような工事を積極的に進めてほしい。また、こうした良い結果は良いと認めて積極的に公表してほしい。	経済部
4	中島田	防災行政無線の整備について、整備計画を示してほしい。設置できないところは、固定無線機の設置が望ましい。また、公民館(非常勤)に設置が不可能な場合は、自主防災組織の責任者宅に設置しては。	総務部
5	周防	ハザードマップによると、島田川の川西地域の避難場所が「土砂災害時」と「土砂災害時以外」で異なっているが、実際に避難する場合は、「豪雨による水害と土砂災害」の両方を一緒に考えなければならないのでは。避難情報が発令されるときに「土砂災害時」と「土砂災害時以外」に区分けして発令できるものなのか。的確な避難情報の提供をお願いしたい。	総務部
6	周防	ハザードマップでは、今回、新しく「周防多目的集会所」が避難施設となっているが、過去の水害等の事例から、避難施設としてふさわしくないのでは。	総務部
7	周防	土砂災害多発危険地域である新宮地区では、土砂災害防止施設がなにも整備されていない。砂防ダム・砂防堤等の設備対策をお願いしたい。	総務部・建設部

6 里の厨と光の海から始まる活力ある第六次産業創造プロジェクト

番号	地区	意見・提言等要旨	担当部
1	周防	千田郷地域は、農村の過疎化、農家の高齢化等により、農地・農業用水(ポンプ施設)・排水路・農道等の保全管理が困難な状況にある。今後ますます過疎化と高齢化が進み遊休農地が増えると思われるが、市の対応、対策等があればお聞かせ願いたい。	経済部
2	浅江	第六次産業の創出は、一次産業である農・林・水産業の活力が基本だと考える。耕作放棄地の解消と、収穫物の販路拡大を。	経済部
3	浅江	無農薬・減農薬栽培では、野菜にある程度虫が混入するのは防げない。学校給食に納品した仲買人からクレームを受け、市場から出荷物の引き取り及び次回以降の出荷見合わせの要求が出たが、基準の見直しは出来ないものか。	教育委員会

7 コンパクトシティによる快適空間創造プロジェクト

番号	地区	意見・提言等要旨	担当部
1	大和	子どもやお年寄りが安心して歩くことのできる岩田駅周辺のまちづくりを願う。	政策企画部・建設部